

SPレコード鑑賞会

1929年に竣工した総合博物館の建物（旧理学部本館）は今年90周年を迎えます
これを記念しSPレコード鑑賞会を連続開催します
初回は、作曲者自身がオーケストラを指揮、又は楽器を演奏している曲を蓄音機で上演します
博物館が竣工した時期（1929年）に録音されたSPレコードも含まれます

S Pレコード：Standard Playing Record 19世紀末から20世紀半ばまで生産された 78~80回転のレコードで、
重く割れやすいが、当時の貴重な名演奏が鑑賞できる

i. Edward Elgar 〈1857~1934, イギリス〉 Victor JD-123
“Pomp and circumstance march”

No1.in D major, No2.in A minor (op.39)

The B.B.C. Symphony Orchestra

Sir. Edward Elgar (cond.)

「威風堂々」。イギリスでは第二の国歌Land of Hope and Glory「希望と栄光の国」

Benson/Elger “Land of Hope and Glory” Columbia J9013
Dame Clara Butt (contralto)

ii. Maurice Ravel 〈1875~1937, フランス〉 Polydor 45018~9
“Bolero”

Concerto de Lamoureux

Maurice Ravel (cond.) *1927年作曲、1928年録音

iii. Pablo de Sarasate 〈1844~1908, スペイン〉 Victor E-183
“Tarantelle”

Pablo de Sarasate (violin)

iv. Fritz Kreisler 〈1875~1962, オーストリア〉 1923年に来日 Victor 6692
“Caprice Viennois” (ウィーン綺想曲)

Fritz Kreisler (violin)

Reymond Bauman (piano)

v. Pietro Mascagni 〈1863~1945, イタリア〉 Polydor 60072
“Cavalleria Rusticana” Intermezzo

「田舎の騎士」の意。（男の道。恋愛悲劇。1890年初演。）

“Visione Lirica” (叙情的幻想)

Berlin State Opera Orchestra

Pietro Mascagni (cond.)

vi. Richard Georg Strauss 〈1864~1949, ドイツ〉 Polydor 45087
“Till Eulenspiegels lustige Streiche”

交響詩「ティル オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら」1895年作。

Berlin State Opera Orchestra

Richard Georg Strauss (cond.)

vii. Paul Hindemith 〈1895~1963, ドイツ・アメリカ〉 Nippon Telefunken Bestellt no.13601~3
Symphonie: “Mathis, der Male” (画家マチス)

Berlin Philharmoniker

Paul Hindemith (cond.)

2019年8月9日 Fri. 17:50 開場 18:00 開演

北海道大学総合博物館1F 集合場所: 知の交差点（講演室） 入場無料・申込不要

主催：総合博物館メディアボランティア、石川 恵子（総合博物館ボランティア・SPレコード提供）

音響協力：中坪 淳彦（蓄音機提供）